

## スケアード・ストレイト教育技法(スタントマンによる事故再現) による自転車交通安全教室

Scared straight (scaredは怖がる・おびえるの意)

恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育手法です。プロのスタントマンに事故を再現してもらい、「交通ルール」の大切さを学ぶ活動になります。



本日5時間目に、警視庁原宿警察署・渋谷区土木部交通政策課・渋谷区教育委員会の協力により、このスペシャル授業が実現しました。

前回の実施は、2年前の「コロナ禍」の全盛期に開催。当時の3年生だけが校庭に出て・・・1・2年生は教室から校庭を見る方式での開催でした。(当時1年生だった現3年生は4階の教室からの見学したのを覚えていると思います。)

今回は、全校生徒が校庭で目のスタントマンによる事故の再現を・・・スピード感・衝撃音等々、迫力ある実演で交通事故の怖さを実感することができたと思います。同時にルールを守ると事故を防ぐことができるという実演もいただきました。

本校では2年に1回のペースで実施していただく予定になっております。

